

価値ある資源として “河川利用の高度化”のお手伝い

～ “ミズベリング” を活かした防災かわまちづくり～

あなたの街の川や人、まちをイキイキさせます

パシフィックコンサルタンツでは、河川・防災・まちづくりのノウハウを活かした
“かわまちづくり”を提案し、川や水辺に新たな付加価値を見出します。

ミズベリングプロジェクトとは

- 平成15年度より、国土交通省 水管理・国土保全局では、河川空間のオープン化の社会実験を開始し、平成23年度に社会実験の効果を確認した後、正式に制度化
- 平成25年度より、河川の賑わいの創出を目的とした「ミズベ（水辺）+リング（輪）」＝ミズベリング・プロジェクトが始動
- 水辺に関心がある市民や企業、そして行政が連携し、河川空間のオープン化制度を含め、さまざまな手法で、水辺とまちが一体となった美しい景観づくりや新しい賑わいを生み出す活動を起こしていく取り組み
- ミズベリングプロジェクトには3つの基本コンセプトがあり、水辺の価値を再認識させ、これからの水辺とまちの未来をデザインしていく

3つのコンセプト

1

まちにある川や
水辺空間の賢い利用

2

民間企業等の民間活力
の積極的な参画

3

市民や企業を巻き込んだ
ソーシャルデザイン

【参考】<http://mizbering.jp/>

事例紹介

既存治水施設を活かした防災まちづくりのフォローアップ

- ✓ 既存治水施設（例：霞堤）の歴史的価値や減災・防災機能を評価します。

ミズベリングプロジェクト
対象範囲イメージ

地域の固有資源（価値）の再発見 ➡ 探す、みつける

- ✓ 地域の資源である治水施設及び水辺の保全や有効活用による地元メリット（テーマ）を提案し、地域活性化の視点を踏まえた持続可能なアイデアを具体化します。

地域の人づくり、ソフト事業 ➡ 育む、つながる

➡ 活かす、取り組む

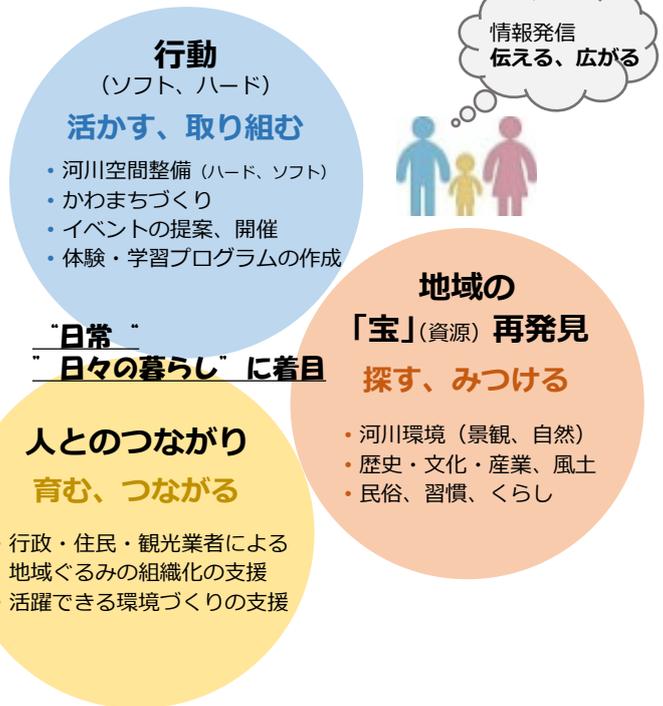
すべての人が主人公!!

河川空間（水辺）を
計画する人
（例）行政、施設管理者

河川空間（水辺）を
つくる（創る、造る）人
（例）コンサル、ゼネコン

【求心力】

河川空間（水辺）使う人
（例）事業者、個人



【業務実績】発注者：甲府河川国道事務所 Tecris：4021409518 業務件名：H26富士川防災業務支援検討業務

